

# 会 議 記 録

政策企画局 市民参加・協働推進課

開催日	平成 23 年 9 月 26 日(月)	開催時刻	19 時 00 分から 21 時 15 分
会議名	上田西部地域協議会(平成 23 年度第 6 回)		
出席者	小林委員、佐藤修一委員、佐藤祥一委員、関委員、高橋委員、竹内委員、竹村委員、中島委員、成田委員、原委員、藤作委員、布施委員、増田委員、松本委員、宮下委員、渡辺委員 (欠席委員)小宮山委員、鈴木委員、宮尾委員 (事務局)山崎市民参加・協働推進課地域振興政策幹、林市民参加・協働推進課課長補佐、堀内市民参加・協働推進課主査		
会議次第			
1 開会			
2 会長あいさつ みなさんこんばんは。秋風が吹き始めてちょうど良い気候になりました。今日は議題の中にあるように信州上田文化デザイン研究会からお話しをいただくことになっています。私共、歴史遺産の保存活用といった取組とも関係する事もあるので、今回この研究会の事業の主旨についてお話をお聞きします。内容を把握した中でこれからの取組を含めて進めていきたいと思う。その後は分科会で話を進めたいと思うので宜しくお願いします。			
3 会議事項 清水研究会長：私、信州上田文化デザイン研究会、会長の清水です。会は去年の 9 月に立ち上げました。長野大学と千葉大学の先生が加わって地域の文化等について研究しています。そこで、上田市で残っている文化財の一つとして 2000 坪の丸山邸の古い建物が残っているという事になり、この丸山邸を保存していくため、会を立ち上げました。会員は 30 名です。 丸山邸は現在、御子息の方が東京に居られ、現在は従兄弟の方が管理しています。古い建物の中は、住居として実際に何人が住んでおられてお貸ししている状況です。母屋には外国人の方が住んでいます。このままの状況ですと文化財その物が非常に傷んでいってしまうのでこの財産を保存していくために、急きょ会を立ち上げました。 今年、長野県の元気づくり支援金を頂いて今の活動を始めました。丸山邸は、山			

田洋二監督の映画「たそがれ清兵衛」の決闘のシーンで石垣をバックに撮影が行なわれ有名になりました。明治維新の際に売りに出された上田城を当時買われた人が丸山平八郎さんで、買ったあと当時の上田町に寄付されました。丸山平八郎さんに買って頂かなければ今の上田城はなく、実際に丸山さんのお宅は当時焼き討ちあい、その際丸山さんのお嬢さんが亡くなりました。そのような事もあり、丸山さんの話ですと上田城に子どもの遊ぶ場所を是非、作って欲しいという条件のもと町に寄付された、という経過があります。昔の事ですが、遊園地が上田城にあったのはその意味があります。そして現在はその経過を知る市の職員が少なくなったので、市議の皆さんも含めて再認識をして頂きたいと思っています。これは、十年単位で考えていかなければならないプロジェクトですが、丸山邸を知らない方もいるので皆さんに地図をお渡ししてあります。

場所は北国街道、柳町から和田龍酒造さんがあり、その西に行った突き当たりには丸山邸があります。突き当たりを右に曲がると高橋という橋があります。その右側に芳泉寺があり、向源寺があります。芳泉寺はご存知、真田ゆかりの小松姫のお墓がありますが、その隣が丸山邸になります。母屋、土蔵、広大な農地約 1000 坪がありますが、その内の 500 坪をお借りして薬草園を作っています。桜も寄付が集まり、約 30 本植えてあり、何年かすれば花見も出来るようになります。秋には秋の名所を作りたいと今は考えています。園児や小学生の遊び場としても計画しています。それから、蔵が矢出沢川沿いにあり、この蔵を改築する計画を立てています。十年間、丸山さんに無償で蔵を借りる契約を結びましてこの工事に現在入ったところです。

また、もう一つある蔵は、赤松小三郎という上田では有名な偉人の記念館にしたいと思っています。蔵は 10 月末をメドに完成の予定で進めていまして、11 月 20 日に記念の開所式を行いたいと考えています。大事な事は地域の人に賛同して頂かないと文化は残っていかないということで、私も地域協議会委員で今、城南地域協議会に所属していますが、やはり西部地域の皆さんにもご協力を頂かないと進みませんのでお話を頂きました。全体を 3 年くらいの計画の中で保全地区にしたいと考えています。上田市にも協力して頂いて現地視察をしていただきました。30 日に市会議員の有志の皆さんにも丸山さんのお話を聞き、視察して状況を理解していただく予定です。最終的には 5 年くらいかかると思いますが、地元のみなさんのご協力を得ないと進まないところもあるので宜しくお願いします。

田中氏：城南地域協議会会長の田中です。私は、この丸山邸が上田市の観光の拠点として位置付けされ、活用が図られるように活動しています。私は途中から関わったのですが、丸山さんが私の同窓・同期で久しぶりの再会から関わる事になりました。壮大な事業で、特に矢出沢川沿いの石垣の見事さは色々な分野で評価され、利用されていますので、保存していきたいと言う熱い思いです。私も上田市の未来像につ

いては関心がある訳でして、これからこの資源を生かして観光産業にするには具体的にどうするのか、このことについては皆さんで知恵を出し合い決定していく訳です。

今回の丸山邸の一带について、上田城を中心にして 800 メートルを真田三代という観光資源を生かす一つの拠点として活動していますが、丸山邸は西部地域にとっても非常に大事だと思う訳です。上田市の観光産業となりますと、平成 26 年には交流文化施設として市民会館が移転する予定で、現在の市民会館の場所は計画に従って整備されると思いますが、この上田城を中心とした計画に地域の皆さんにも発言して頂き、関心を高めてもらいたいと思います。

丸山邸周辺にはいくつかの自治会の皆さんが関わっていますが、自治会の皆さんにもぜひ協力をいただきながら進めていけたらと考えています。この事業は大変お金がかかることで、丸山さんとの賃貸契約は当然長い期間継続しなければなりません。長期に渡る契約と観光の拠点整備という形で長い時間の中で議論しなければならないと思う訳です。この事業を上田市あげて進めてもらいたいと思います。是非、地域協議会の皆さんの力をお借りしながら進めていきたいと思っています。

会長： 何かご質問ありますか。

清水研究会長： 私の方から補足で、「木屋平プロジェクト」と題して動いていますが、これは丸山平八郎さんの材木町におられた際の屋号「きやひら」です。それから、矢出沢川が昨年の災害の際、増水して現在県の事業で下流の方から復旧工事を実施していますが、西小学校のみなさんをお願いしてホテルの里を作り、この地に同時に整備していきたいと考えています。来年以降に計画しています。

委員： 諏訪部自治会にはそのような話が伝わっているのか。

清水研究会長： はい。この前、自治会長さんにお話をしてお願いをしたばかり。

委員： そうであれば私も含め自治会でもやっていきたいと思う。

委員： 拠点にするのは良いと思う。しかし、ここに人を集めるのは良いが、道路が狭く一方通行もある。どう考えているか。

清水研究会長： 現状は北国街道が一方通行、芳泉寺からの道も非常に狭い。なかなか道を広げるには難しく、今考えている事は玉姫殿さんの駐車場をお借りして矢出沢川の散歩道を通して芳泉寺の小松姫のお墓を見て頂き、丸山邸に来て頂く。それから、

上田城からの散歩道を不便は不便なりに工夫して、狭さゆえにコースを考えていきたいと思います。近隣の方のご協力や県の方にもお願いして遊歩道を整備するなど、回遊するルートを計画しています。

委員： 今の話では生活道路を利用するとなると丸山邸さんのある自治会、まず自治会の皆さんにお話して賛同して頂けなければお困りになると思う。

清水研究会長：そうですね。まだ内部での計画で、観光客を呼んで今日お話したようなことが実現するには何年かは掛かると思います。まずは蔵に近所の人が集まる場所から作ろうと考えています。薬草園の隣にもJAさんをお願いして地元の大根、山口大根や緑大根の種を蒔きました。最近、発芽して地元の人にも利用して頂きたいと思っています。地元の方をお願いして賛同していただく予定です。

委員： 歴史的遺産の関係では是非やって頂きたいと思う。後、この配布された資料の写真はいつ頃のものが。

清水研究会長：今ある蔵を赤松小三郎の記念館にしたいと考えています。赤松小三郎顕彰会が今年は赤松生誕 180 周年になるのでこの機会に是非、そこを記念館にしたいという強い希望があり、私達と手を組みました。資料に載っている内部の建物は明治時代に焼討ちに合い、実際はこの建物はありません。残っているのは矢出沢川の蔵と、途中の蔵、この途中の蔵を改造・改築しています。この写真は明治 27 年前の建物で石垣は現在のの上田城よりも古いものです。

委員： この計画は 9 月まで予定通りか。

清水研究会長：予定通りですが、予算がないので何とか来年以降に繋げていきたいと思っています。現在、予定を縮小して整備していて 11 月 20 日のオープンに向けて進めています。情報はこまめに出す予定です。宜しくお願いします。

委員： 蔵の中にはいろんな宝があるのですか？

清水研究会長：丸山邸の中はかなり古いものがあります。それを蔵のどこに展示するか、まだ決まっていない状況です。2 階に展示・保存しようかと考えています。

委員： やはり、地元の盛り上がり的大事だと思う。これだけの事をやっていくのは大変だと思うが、地元からボランティアを募るという方向で、地元の人達を登用し

て支えていく形が良いと思う。

清水研究会長：地元がどう関わるかが一番重要なポイントと強く言われています。ある程度、進んだ状況で平行して地元の方のご協力を得たいと思います。地元の方にもこまめに情報を提供していきたいと思っています。

委員： 焼討ちに合ったと言われましたが、これは事件性のあることだったのか？

清水研究会長：明治 3.4 年頃に上田騒動という事件がありました。物を奪っていく一揆のような騒動があり、その時に火を付けられ、川に着物等投げ込まれてその着物等をお嬢さんが取りに川へ入り、身ごもられたお子さんと共に亡くなられたそうです。その不幸から上田城を町に寄付して条件として子どもたちのための遊園地を造ったようです。

会長： 今日詳しく説明されて、質疑もあり、とても意義があった。是非とも事業を進めていただきたい。これから大変な作業になるかと思うが、地域協議会でも協力できる事はしていきたいと思う。宜しくお願いします。

清水研究会長：情報はこまめにこちらの会長さん通じてお伝えしていきたい。11月20日には招待状も出す予定ですので実際に中を見て頂きたいと思います。利用価値をこちらでも考えて頂きたいので宜しくお願い致します。どうもありがとうございました。

会長： それでは今日は分科会の後、流れ解散となります。

(分科会開催)

#### 4 次回会議の開催と日程について

第7回西部地域協議会 平成23年10月24日(月)

第8回西部地域協議会 平成23年11月28日(月)

#### 5 閉会